

至誠館大学

科目名	保健科教育法Ⅱ			コード	1553
英語表記					
担当教員名	岡野 亮介			年度	平成28年度
基準年次	2年次	開講期	後期	単位数	2
授業形態		授業形式	講義・演習	履修形態	教職
授業概要					
授業における教師の役割と具体的な教授技術を理解させ、模擬授業で実際に教える経験を通して自らの長所と短所を把握させる。また、他者の授業を観察・評価する視点と方法を理解させる。					
到達目標					
保健授業を実施するうえで必要な知識・理解を深めるとともに、学習指導案を作成し、授業を実践できる基本的な力を培う。					
授業計画					
第1回	保健科の教師論……教師の資格と資質、授業における教師の活動(価値・技術・熱意)				
第2回	授業の具体的な技術……発問・指示・説明・板書・PC活用等				
第3回	マイクロティーチング(1)・・・教授技術の評価。グループに分かれ1人ずつ10分間実施。				
第4回	マイクロティーチング(2) チェックシートへの記入とグループでの振り返り				
第5回	保健科の単元計画(1)・・・中学校学習指導要領、領域別にみた学習内容の視点と構成				
第6回	保健科の単元計画(2) (心身の発育と発達)(健康と環境)(傷害の予防)(病気の予防)(健康と生活)				
第7回	授業案作成実習(1)・・・書式、作成手順の確認				
第8回	授業案作成実習(2) 担当単元の決定とグループ分け(グループ人数は受講者数で変更)				
第9回	授業案作成実習(3)				
第10回	模擬授業(1)・・・授業は30分間で計画し、実施する。				
第11回	模擬授業(2) 終了後15分間は授業者の自己評価と受講者のチェックシートをもとに振り返り。				
第12回	模擬授業(3)				
第13回	模擬授業(4)				
第14回	模擬授業(5)				
第15回	より良い授業を求めて・・・教材の「溜めと待ち」、授業観察、授業研究の進め方				
評価方法と基準			評価項目と割合(%)		
(個別理解度)自習課題に対するミニ・レポート			出席	授業態度	レポート
(総合的理解度)修正指導案レポート並びに模擬授業の評価					期末試験
合格各項・欠度5回を超えるものは筆記試験の受験資格なし				30	70
授業外学習			テキスト、教材		
模擬授業指導案作成					
参考書			受講生へのメッセージ		
キーワード					